



京都大学  
KYOTO UNIVERSITY

# 人間と宗教

ニンゲント  
シュウキョウ

東京で学ぶ京大の知シリーズ12

「主催」 京都大学

「講演時間」 各回 18時30分〜20時

参加費・無料

「宗教」と聞いて、わたしたちは、仏教やキリスト教といった個別の宗教をふつう思い浮かべます。それらは、地域や各地の人々と結びついた伝統的、文化的なものであり、閉じた体系（教理）、あるいは習慣のようなものとして理解されています。しかし、人には、何かの拍子に、人間として何かとても重要な意味をもった「宗教」と出会う時機が到来することがあります。ここでは、「宗教」は、違った意味を帯びることになるでしょう。今回は、日本、西欧、インドの哲学を専門とする4人の講師が、人間と宗教の関わりについて、それぞれの考えを語ります。

## 第1回 8月8日(木)



氣多 雅子  
文学研究科・教授

### 西田幾多郎『善の研究』における〈宗教的要求〉とは何か

西田幾多郎は『善の研究』における宗教の考察を「宗教的要求」から始めています。この言葉を読み解いていくことで、彼が宗教という事象をどのように捉えているか、彼の人生において宗教がどのような意味をもっているかが、見えてくるはずです。

## 第2回 8月20日(火)



川添 信介  
文学研究科・教授

### アウグスティヌス：邂逅の生涯とキリスト教

西欧最大の神学者であるアウグスティヌスは、生まれながらのクリスチャンではなく、さまざまな出会いのなかでキリスト教信仰へと至りました。彼の自叙伝ともいえる『告白』をたどりながら、人間の生にとって宗教が持つ意味を考えます。

## 第3回 9月5日(木)



藤田 正勝  
総合生存学館・教授

### 「倫理と宗教」という観点から見た「人間と宗教」の問題

キリスト教ではつねに倫理と宗教との関わりが重要な問題として問われてきました。それに対して仏教では、必ずしもその問題が十分に問われてこなかったと言われます。はたしてそうなのかどうか、その歴史をふり返って、検討してみたいと思います。

## 第4回 9月17日(火)



赤松 明彦  
京都大学・理事・副学長

### マハトマ・ガンディーと宗教

インドでは、「人はヒンドゥー教徒になるのではない、ヒンドゥー教徒として生まれるのだ」とよく言われます。では、ヒンドゥー教徒として生まれたインド建国の父マハトマ・ガンディーは、仏教やキリスト教をどう捉えたのでしょうか。

### ■ 開催場所・問い合わせ先

京都大学 東京オフィス 東京都港区港南2-15-1 品川インターシティA棟27階

TEL | 03-5479-2220 FAX | 03-5479-2221 E-mail | t-office@www.adm.kyoto-u.ac.jp

URL | <http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/tokyo-office/>

京都大学東京オフィスのホームページから申込用紙をダウンロードし、**FAX**または**メール**でお申し込み下さい。各回定員**100名**、締め切りは**7月29日(月)**です。全4回のシリーズですが、1回のみお申し込みいただくことも可能です。なお、定員を超えるお申し込みをいただいた場合は、抽選とさせていただきます。

